

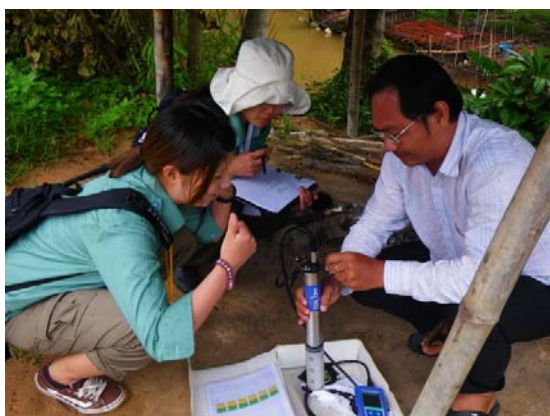
金大生がアンコール世界遺産でインターンシップ

金沢大学とアンコール遺跡群の維持管理および環境保全の中核組織であるアンコール遺跡整備公団との大学間交流協定をふまえ、**昨年度にひきつづき今年度もインターンシップ（職場体験）を同公団で8月に実施**することとなりました。8名の学生たちは、水環境・森林環境の維持管理、大気汚染の観測、交通量調査、観光客のための遊歩道の整備といったアンコール世界遺産公園での業務に同公団職員とともに従事いたします。

著名な世界文化遺産であり第一級の国際的観光地でもあるアンコール遺跡公園は、持続的かつ創造的な発展と、自然環境、世界遺産、そして地域住民が調和する社会の創造へとむけて、**UNESCOをはじめとする国際機関がカンボジア政府とともに活動**し、また、世界各国の遺跡修復チームなどがそれぞれに活動を展開しています。このような**真の国際社会の場でのインターンシップは、これから国際社会に飛び立ってゆく学生たちにとってかけがえのない経験になることが期待**されます。



遺跡保存修復現場の視察(2010年度インターンシップの様子)



アンコール世界遺産公園での水質調査(2010年度インターンシップの様子)



遺跡整備公団副総裁とのディスカッション(2010年度インターンシップの様子)

参考資料

○インターンシップの実施日程

- 2011年8月20日（土）：金沢出発，関西空港，ホーチミンを経由してシェムリアプ着
2011年8月21日（日）：アンコール遺跡世界遺産公園の視察
2011年8月22日（月）～26日（金）：インターンシップ前半
2011年8月27日（土）～28日（日）：休日
2011年8月29日（月）～9月2日（金）：インターンシップ後半
2011年9月3日（土）：シェムリアプ出発，ハノイ，関西空港を経由して金沢着（4日）

○業務の内容

- ・北バライ貯水池遺構での遊歩道の整備，育苗地の管理，中央祠堂の整備
- ・西バライ貯水池遺構での遊歩道の整備，堤防の修復と保全，中央祠堂の整備
- ・遺跡公園全域における大気汚染観測，交通量調査，水質・水量調査
- ・ルン・タ・エク伝統村落再生計画，湿原管理
- ・バンテイアイスレイ遺跡における観光遊歩道の整備，伝統家屋の保全管理
- ・アンコールトム遺跡における水利ネットワークの管理と整備

○参加学生

人間社会学域 国際学類 3年生 5名，人文学類 2年生 2名，経済学類 2年生 1名
計 8名
チューター 3名（昨年度の参加学生） 合計 11名

○連絡教員・職員（調査・研修のため現地に滞在）

環日本海域環境研究センター教授 塚脇真二
人間社会学域国際学類教授 鹿島正裕（後半のみ）
角間北地区事務部学生課学務第一係 辻谷友紀

○インターンシップの場所と交通

アンコール遺跡整備公団シェムリアプ本部およびアンコール世界遺産公園：
APSARA COEX Centre, Culture Tourism Zone, Siem Reap, Kingdom of
Cambodia.

Tel. +855-63-760080, Fax. +855-63-964819, Email

apsara-admin@camnet.com.kh

アンコール・シェムリアプ国際空港からタクシーで約30分

<本件に関する照会先>

環日本海域環境研究センター 塚脇
Tel：076-264-5814
角間北地区事務部学生課学務第一係
Tel：076-264-5455

<担当>

広報戦略室 松本
Tel：076-264-5024